

## Service News サービス・ニュース

### 「日比谷データベース講座」が始まりました!

当館で利用できるオンラインデータベースを気軽に知っていただくための講座です。オンラインデータベースってなに?どんなことができるの?という方にもわかりやすく解説いたします。この機会にぜひご参加ください。

**場所:** 2階図書フロア カウンター前  
**参加費:** 無料  
**▼8月の予定**  
**Westlaw Japan (法律情報)**  
 8月19日(火) 12:15~13:15 / 18:00~19:00  
 20日(水) 12:15~13:15 / 18:00~19:00  
 ※講座概要は各回とも同じです。  
 今後のスケジュールは館内のポスター及びチラシでご確認ください。

## 8月の展示情報

**2F オレンジゾーン** 「働き方の可能性～雇用と労働の今、これから～」 NEW!  
 少子高齢化、女性の社会進出など社会の変化とともに働き方の多様化が進む日本の雇用。働き方の現状と今後の可能性についてさまざまな視点から紹介します。

**2F ホール** 『世界の夢の図書館』の写真パネル展 (～8月中旬)

**2F パープルゾーン** 「変化と回帰の一世紀-東京駅開業100周年記念-」  
 開業から今年で100年の東京駅。「100年」という歳月がもたらした変化を、各時代の象徴的な出来事を題材にした本を集め、紹介しています。  
 ■企画展  
 「千代田の文化財で綴る江戸・東京の歴史」(三角台) NEW!

**3F ホール** 「変化と回帰の一世紀」(協力:東京駅フォトグラファー佐々木直樹)  
 ガラスケースに新たな東京駅コレクションが加わりました。  
 「平和展示会」(～8月中旬) NEW!  
 原爆写真と関連図書を展示しています。

**3F ブルーゾーン** 「trans×translation 一越境の美学」(～8月中旬)  
 トランスレーション(翻訳)とは、言語の境界を乗り越えるコミュニケーションです。ここでは、言語や文学に限らず感覚、異界など多様なジャンルに見られる越境の世界を展示します。

### わたしの一冊

## 「坂の上の雲」(全6巻) 司馬遼太郎著

この物語は精緻な歴史描写だけではなく、秋山好古、秋山真之、正岡子規の三人の人物を中心とした、多彩な人間模様が大なる魅力です。明治維新後、近代日本を生きた人々が、急速に流入する西洋文明とどのように向き合ったのかを伝わってきます。私が歴史小説好きとなってきたきっかけとなった一冊です。

◆当館スタッフの推薦本を紹介します。  
 ◆おすすめする人  
 広報・営業部門  
 榎野 彰太郎

坂の上の雲  
 文芸春秋 2004年  
 明治日本が、近代国家となるべく奮闘する様子を独自の世界観で描き出した一冊。

## 3F グリーンゾーン

【哲学・歴史・自然科学・技術工学】の本を集めたゾーン

### 「考えるケンチク」

建築物が生まれた背景にはどのような思想や哲学があるのでしょうか。近代から現代にかけての建築史を読み解く本として、哲学や美術など他の分野から建築と関係の深い本を集めて展示しています。また、建築家は書物と親和性が高く、数多くの本が執筆されています。これらを通して、建築物の奥に秘められた思想や哲学に触れてみませんか。



### 関連本紹介

**『陰翳礼讃』**  
 谷崎潤一郎  
 中央公論新社/1995年  
 “陰翳”というものに日本独自の美を見出し、建築をはじめ様々な角度から日本文化について論じた随筆。

**『建築へ【新装普及版】』**  
 ル・コルビュゼーヌ二エ著 樋口 清訳  
 中央公論美術出版/2011年  
 百年近くも前に書かれ、今なお読みつがれている近代建築を理論づけた不朽の名著。

### 日比谷カラーレジン報告

## 「未来のモノづくり」

3Dプリンタから始まる次の社会

講師: 田中浩也 (慶應義塾大学環境情報学部准教授)  
 平野啓一郎 (小説家)

じつは大学時代の音楽サークル仲間でもあるというお二人の「花の同級生対談!」

作る人・国・環境の違いによってアレンジがされ、それがまた世界中で共有される新しいモノづくり。モノが溢れる中であって3Dプリンタで作る意義:それは個性に合った「自分」を見つけるためのモノづくりでもあるということ。異分野のお二人の一夜限りの邂逅は、工学的でありながら哲学的示唆にも富み、刺激に満ちあふれた2時間でした。

自宅の「未来の救急箱」には、絆創膏ではなく3Dスキャナが入っていて、自分の腕の形に合わせてギプスが作れるようになるの、遠い話ではない...?!

6/20 (金)

## 千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

# 江戸・東京の歴史

## 千代田の文化財で綴る

平成26年度文化財企画展  
 千代田区文化財保護条例施行30周年企画展示

平成26年7月22日(火)～8月31日(日)  
 展示室開室時間:月～土10時～18時(日・祝10時～17時)

千代田区では、昭和40年代に区民の生活に関わる資料の収集に始まり、昭和59年度(1984年)に文化財保護条例を施行して、本格的に区独自の文化財保護に取り組みました。以来、区指定文化財の保護をはじめ、江戸城跡や史跡江戸城外堀跡、常盤橋門跡といった国史跡の保護、資料収集、埋蔵文化財の発掘調査など、文化財の保存・活用に努めています。今年度は、千代田区文化財保護条例施行30周年にあたり、これら文化財を通してみえる「江戸・東京」の歴史を紐解き、改めて千代田区が保護の取り組みを行ってきた文化財を紹介します。

- ▲「能楽狸々図屏風(石橋)」(千代田区教育委員会寄託 三谷家資料)
- 展示項目
- I 巨大城下町江戸の形成
  - II 文明開化と近代都市東京
  - III 関東大震災と帝都復興
  - IV 地域のくらし
- 人場無料

■展示解説  
 以下の日程で、担当学芸員が展示解説を行います。(所要時間40分程度・予約不要)時間になりましたら、特別展示室の入口付近にお集まりください。

▶7月29日(火) 13:30～ ▶8月19日(火) 13:30～  
 ▶8月12日(火) 17:00～ ▶8月24日(日) 13:00～

本展示の出品資料に関連した講演会・講座を開催します。

**講演会** 8月19日(火) 18:30～20:30  
**「東京の文化財と江戸遺跡」**  
 ■講師: 谷川 章雄  
 (千代田区文化財保護審議会委員・早稲田大学人間科学学術院教授)

**講座** 8月12日(火) 18:30～20:30  
**「旧江戸城と江戸城外堀をめぐる」**  
 ■講師: 後藤 宏樹 (千代田区文化スポーツ課文化財主査)

8月24日(日) 14:30～16:30  
**「東京駅と丸の内の近代建築」**  
 ■講師: 米山 勇 (江戸東京博物館都市歴史研究室研究員)

上記いずれも ■会場: 日比谷図書文化館4階スタジオプラス(小ホール) ■定員: 60名 ■受講料200円  
 【申込み】 電話・Eメールのいずれかにて氏名・ご住所・電話番号を明記のうえ、下記までお申込みください。定員に達し次第受付終了となります。  
 日比谷図書文化館 文化財事務室 電話: 03-3502-3348 Eメール: rekimin@vesta.ocn.ne.jp

calendar 開館時間: 平日10時～22時 ■ 土曜10時～19時 ■ 日祝10時～17時 ■ 休館日

2014年 8月							2014年 9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2		1	2	3	4	5	6
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30				

■お問合せ先: 千代田区立日比谷図書文化館  
 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL: 施設代表 03-3502-3340  
 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL: http://hibiyal.jp

access

都営地下鉄  
 ●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分  
 東京メトロ  
 ●千代田線「日比谷駅」A14出口 徒歩5分  
 ●丸の内線「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩5分  
 JR「新橋駅」徒歩10分  
 ※当施設に駐車場・駐輪場はございません。

# 8・9月の講座

「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

**8/2 (土)** **ピースビレッジ 第25回**  
**まちを元気にする交流創造広場**  
**「まちじゅう図書館」**

講師：花井 裕一郎 (NPO法人オプセリズム)

コミュニティで資料を保管、共有することで、共に生き、教養をわかちあう、その時に、「誰でもが世界に通用する「教養」を身につけることができる場である！」図書館は、コミュニティと一体になります。本をきっかけに交流の場を創造する「交流の図書館」について講師が語ります。(主催：NPO法人世界連邦21世紀フォーラム)

■日時：8月2日(土)14:00～16:30(13:30より受付)  
 ■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：3000円



**8/5 (火)** **日の丸ニッポンが世界に勝つ方法 第2回**  
**競泳で勝つーカエルの飛び込みに学べ!**

講師：望月 修 (東洋大学理工学部生体医工学科教授)

空気や水の流れ、摩擦を考える流体工学の視点から、科学を味方につけてメダルを勝ち取るオリンピック種目、「競泳」を導き出します。第2回は夏の人気種目、「競泳」。競泳に最も向いた体形や、水の抵抗を抑える究極の泳ぎなど、「楽しく記録を伸ばすコツ」を日本人選手が着用する最先端水着の開発に取り組む講師がお話します。

■日時：8月5日(火)19:00～20:30(18:30より受付)  
 ■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：1000円  
 ▼第3回予告  
 9月2日(火)19:00～20:30「滑り勝つー空気抵抗を制覇せよ!」



**8/21 (木)** **本と出会う**  
**～ブックディレクターが語る、本選びのヒント～**

講師：幅 允孝 (ブックディレクター)

カフェ・病院・ホテルなど意外な場所までも「本と人との出会いの場」として手掛けてきたブックディレクター幅允孝氏に「本の選び方」「あなたにじっくりくる一冊」についてお話いただきます。

■日時：8月21日(木)  
 19:00～20:30(18:30より受付)  
 ■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)  
 ■定員：60名 ■参加費：1000円



**8/25 (月)** **我がスポーツ人生 第3回**  
**「私のカーリング人生」**

小笠原 歩(カーリング選手)／吉井 妙子(ジャーナリスト)

過酷なスポーツの世界で活躍するアスリートの人生観や、成功に至るまでの体験談をお話いただく全3回講座。第3回はカーリング女子日本代表のスキップ(司令塔)として活躍した小笠原歩さんをお招きし、最高の舞台となったソチ五輪や、選手、主将、妻、母としてのこれからの抱負について、対談形式でうかがいます。(主催：上廣倫理財団)

■日時：8月25日(月)  
 18:30～20:00(18:00より受付)  
 ■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
 ■定員：200名 ■参加費：500円(千代田区民及び学生は無料)  
 ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるもの、学生の方は学生証をお持ち下さい。



▶参加申込：電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民割引のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

**8/28 (木)** **古書で紐解く近現代史セミナー 第8回**  
**宮武外骨が伝える関東大震災**  
**～『震災画報』にみる震災時の人々～**

講師：河合 伸宏 (特別研究室ナビゲーター)

明治大正期のジャーナリスト・宮武外骨は、関東大震災後の政府や市井の人々の動向をありのまま鋭く見詰め、『震災画報』を出版しました。本セミナーでは、カリフォルニア駐在時や阪神淡路大震災で被災経験のあるナビゲーターが、『震災画報』からわかる震災直後の社会情勢や、今後に生かせることについてお話します。

■日時：8月28日(木)  
 19:00～21:00(18:30より受付)  
 ■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)  
 ■定員：60名 ■参加費：500円(千代田区民無料)  
 ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。



宮武外骨著『震災画報』(半狂堂 / 1924年)

**8/29 (金)** **HIBIYAイノベーション・キャンパス2014**  
**今、企業に求められる**  
**「デザイン・マネジメント」とは何か?**

講師：田子 學(慶應義塾大学大学院SDM研究科特任教授)  
 橋口 寛(慶應義塾大学大学院SDM研究科非常勤講師)

慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科と連携し、新たな視点で独創的な答えを導くためのイノベティブ思考を学ぶ「HIBIYAイノベーション・キャンパス」。今年度第一弾は、世界のデザイン賞を受賞し続ける二人が取り組んだ商品開発を中心に、デザインがいかに企業変革を引き起こすか、今企業に求められる「デザイン・マネジメント」とは何かを、現場の取組みを通して語ります。(主催：イノベティブ・デザインLLC 協力：慶應義塾大学大学院SDM研究所イノベティブデザインセンター)

■日時：8月29日(金)  
 19:00～21:00(18:30より受付)  
 ■会場：地下1階 コンベンションホール(大ホール)  
 ■定員：150名 ■参加費：1000円



**9/3 (水) ほか** **ファイリング・ゼミ**  
**～仕事力をアップするオフィス整理術(全3回)～**

講師：小野 裕子(ファイリング・コンサルタント/クラーター・オーガナイザー)

「オフィスワークの基本はファイリングから」とよく言われますが、基本を学習することもなかなか無いのが実状です。本講座はオフィス内のあらゆる文書・情報の整理のベースとなるファイリング・システムの、基本知識や職場などへの取り入れ方などを実践的にコンパクトに学べ、即実務に活かせる内容です。(主催：一般社団法人日本経営協会)

■日時：  
 ① 9月3日(水) 18:30～20:30  
 ② 9月17日(水) 18:30～20:30  
 ③ 10月1日(水) 18:30～20:30  
 (各回とも18:00より受付)  
 ■会場：セミナールームA  
 ■定員：20名(開催日10日前までに最小催行人数10名に満たない場合には開催を中止とさせていただきます)  
 ■参加費：10000円(全3回)※別途、教材費・資料代として864円かかります。



**9/6 (土)** **ストーリーマンガ時代のはじまり**  
**ー日本・アメリカ・フランスの1930年代**

講師：佐々木 果(まんが史研究者)

日本のストーリーマンガ、アメリカのコミック、フランスのバンド・デシネ。国によってそれぞれ個性豊かに進化したマンガの姿は、どのようにして形成されてきたのでしょうか?それぞれのマンガが発展していく歴史の中で、各国とも爆発的な進化のあった1920～30年代に焦点をあてて、現代マンガの原点を世界的な視野で探ります。

■日時：9月6日(土)  
 16:00～17:30(15:30より受付)  
 ■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：1000円



**9/10 (水)** **江戸楽アカデミー×ジャパンナレッジ「江戸の食文化」講座第3回**  
**「江戸の食・老舗列伝**  
**～『駒形どぜう』を中心に江戸の老舗のこぼれ話～**

講師：越後屋 助七(『駒形どぜう』六代目)  
 河治 和香(作家)

「駒形どぜう」六代目と、老舗旦那衆との親交も厚い作家による軽妙なトークで、「老舗」について語ります。江戸時代の創業から現在に至るまで、変わりゆく食の嗜好や環境にどう工夫し対処してきたのかなど、老舗ならではのこぼれ話を紹介。また浅草や日本橋の老舗の味の数々についても触れます。(主催：江戸楽アカデミー、(株)ネットアドバンス)

■日時：9月10日(水)19:00～20:30(18:30より受付)  
 ■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：1500円



「江戸っ子の町浅草へようこそ」より(『ジェイ・ノベル』2013年10月号)撮影/高橋希(オジモン・カメラ)

**9/10 (水)** **江戸歴史講座 第25回「出光美術館「宗像大社国宝展」開催記念ー**  
**“海の正倉院”沖ノ島の神宝と宗像大社の歴史をたずねてー**

講師：八波 浩一(出光美術館学芸課長代理)

遠くペルシャや中国・朝鮮からの将来品を含む約8万点におよぶ奉獻品が発見され、「海の正倉院」とも呼ばれて広く知られる沖ノ島。沖ノ島出土の奉獻品(国宝)が一同に集まる展覧会開催を記念し、シルクロードを通した大陸諸国との対外交渉史における沖ノ島と宗像大社に祀られる宗像三女神信仰の意義を考えます。

■日時：9月10日(水)19:00～20:30(18:30より受付)  
 ■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
 ■定員：200名 ■参加費：1000円(千代田区民500円)  
 ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。



金製指輪 沖ノ島7号遺跡出土 朝鮮・古新羅時代 国宝

**9/12 (金)** **日比谷コトづくり塾<第8回>日比谷発!最新トレンド発信**  
**「キャラクター戦略で地域を元気にする」**  
**～キャラクター認知度向上からファンを増やす展開手法まで～**

講師：水津 陽子(合同会社フォーティR&C代表・地域再生コンサルタント)  
 田中 信行(熊本県東郷事務所 首席審議員兼次長)  
 平野 慎太郎(株式会社小学館集英社プロダクション 執行役員)

「キャラクター戦略で地域を元気にする」をテーマにパネルディスカッションを開催。パネラーの熊本県には、「くまモン」誕生から現在までの認知度向上からファンづくりを、小学館集英社プロダクションには、キャラクターイベントや着ぐるみショー、「ワールドホビーフェア」の認知度向上とファンづくりにお話しいただき、参加者の皆様と議論して参ります。(主催：一般社団法人日本経営協会)

■日時：9月12日(金) 13:30～16:30(13:00より受付)  
 ■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)  
 ■定員：60名 ■参加費：5400円



©2010熊本県くまモン 協力：銀座熊本館

**9/14 (日)** **演劇への入口講座 第1回**  
**宝塚歌劇100周年と新たな挑戦『CHICAGO』**

講師：宝塚OG版『CHICAGO』出演者  
 司会：竹下 典子(フリーアナウンサー)

東京宝塚劇場、帝国劇場、日生劇場、東京国際フォーラムなどの名だたる大劇場が近隣に集まる日比谷で、演劇をより深く楽しむためにご活用いただける講座が始まります。第1回は、本年100周年を迎えた宝塚歌劇の魅力や、100周年を記念して世界初・女性のみで上演される『CHICAGO』についてお話いただきます。  
 ※講師は8月5日(火)に当館日比谷カレッジHPにて告知いたします。

■日時：9月14日(日)11:00～12:30(10:30より受付)  
 ■会場：地下階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
 ■定員：200名 ■参加費：1000円(千代田区民500円)  
 ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ち下さい。



information

特別研究室ミニ通信

特別研究室企画展示

開催中  
 ～9月21日(日)

「一等国」に足りないもの  
 ー内田嘉吉が取り組んだ大正・昭和初期の日本の課題

通信官僚・内田嘉吉が台湾総督府民政長官の任務を終えて帰国した1915年から取り組んだ化学工業の振興、工業化に伴う事故や災害の防止、都市計画、対外無線電信設備の整備など、その後脈々と引き継がれ今につながってきた仕事にかかわる本を紹介しています。今や日本を代表する企業となった化学工業や機械メーカーの100年前の事業内容や、「安全第一」という言葉のルーツ、近代化に適した都市の整備など、現代社会の礎といっても過言ではない資料の数々をご覧ください。

▲化学工業博覧会誌編纂所編『化学工業博覧会誌上』(化学工業博覧会誌編纂所 / 1918年)より



Library Shop & Cafe

ライブラリーショップ&カフェ

■ショップからのお知らせ

ブックストッパーやしおり、ブックカバーが本好きの方にご好評いただいております。プレゼントにもぴったりです。

■カフェからのお知らせ

夏らしいマンゴーやスイカのドリンクメニューが登場しました。更にケーキ、サンドイッチの軽食に、まい泉のヒレかつサンドも加わりました。心もお腹も満たされる、そんなひとときをお楽しみください。

▶営業時間：平日11時～19時、土曜・日曜・祝日11時～17時



コンシェルジュより from Concierge

毎年7月～8月、日比谷地区では訪れるお客様に「涼」をお届けしようと15施設が集まり「エンタの街 打ち水月間」を行っています。打ち水には暑さを和らげる効果も期待されますが、訪れる皆様を心地よく迎える、日本ならではのおもてなしの心を表したものとも言えるでしょう。日比谷図書文化館も8月29日(金)までの平日夕方(雨天中止)に玄関前で打水、皆様をお迎えます。

▲オープニングセレモニーの様子

